皇帝円舞曲（1948）

THE EMPEROR WALTZ

メディア 映画
ジャンル ミュージカル　コメディ　ロマンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 106分
初公開日 1953/07/15
公開情報 ＰＡＲ

【解説】

Ｃ・ブラケットとワイルダーの名コンビが、それぞれ製作と演出を担当、さらに共同で脚本も書いた。Ｂ・クロスビーがスミスというありふれた名の米国人セールスマンに扮し、発明されたばかりの蓄音機をオーストリア皇帝に売りつけるためウィーンにやってくる。そこで、伯爵令嬢のＪ・フォンテインに一目惚れしてしまうが、蓄音機が爆弾と間違われたため、哀れ国外追放の憂き目に……。しかし愛犬バトンズが、令嬢の飼い犬とお熱くなって、それとともに人間様の恋もグッと進行して誤解も解ける。ワイルダーにしては冴えのない喜劇だが、師匠ルビッチの得意としたオペレッタをなぞって、オーストリア人としての沽券は保った。クロスビーの唄は、やはり聞きごたえがある。華麗なテクニカラーに、フォンテインの美貌が映える。犬たちの名演技、ことに蓄音機（ビクター）の商標そっくりのバトンズ君が笑わせる。

【クレジット】

監督	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder	
製作	チャールズ・ブラケット	Charles Brackett	
脚本	チャールズ・ブラケット	Charles Brackett	
	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder	
撮影	ジョージ・バーンズ	George Barnes	
特殊効果	ゴードン・ジェニングス	Gordon Jennings	
音楽	ヴィクター・ヤング	Victor Young	
	ジョセフ・Ｊ・リリー	Joseph J. Lilley	
出演	ビング・クロスビー	Bing Crosby	ヴァージル・スミス
	リチャード・ヘイドン	Richard Haydn	皇帝フランツ・ヨーゼフ
	ジョーン・フォンテイン	Joan Fontaine	ヨハンナ・アウグスタ・フランツィスカ
	ローランド・カルヴァー	Roland Culver	ホレニア男爵
	ルシル・ワトソン	Lucile Watson	ビトトスカ公爵夫人
	シグ・ルーマン	Sig Ruman	ドクター・ツヴァイベック
	ハロルド・ヴァーミリー	Harold Vermilyea	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.